



2023年10月6日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所
代表者名 代表取締役社長 奥村 華代
(コード:4920 スタンダード市場)
問 合 せ 先 取締役企画・経理部長 霜田 正樹
(TEL. 03-3456-0561)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年4月12日に公表しました2024年2月期(2023年3月1日~2024年2月29日)の第2四半期累計期間及び通期の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

(1) 2024年2月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(2023年3月1日~2023年8月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,971	211	168	132	63.16
今回修正予想(B)	7,355	286	272	217	103.62
増減額(B-A)	384	75	103	84	
増減率(%)	5.5	35.6	61.7	64.1	
(ご参考)前年同期実績 (2023年2月期第2四半期)	5,612	35	26	75	35.82

(2) 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正(2023年3月1日~2024年2月29日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	13,120	283	200	140	66.97
今回修正予想(B)	14,834	482	423	348	166.51
増減額(B-A)	1,714	198	222	208	
増減率(%)	13.1	70.0	111.4	148.6	
(ご参考)前期実績 (2023年2月期)	11,760	161	148	246	117.52

2. 個別業績予想の修正について

(1) 2024年2月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(2023年3月1日~2023年8月31日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	4,722	67	79	37.99
今回修正予想(B)	4,913	90	112	53.58
増減額(B-A)	190	23	32	
増減率(%)	4.0	35.1	41.1	

(2) 2024年2月期通期個別業績予想数値の修正(2023年3月1日~2024年2月29日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,095	86	78	37.26
今回修正予想(B)	10,002	119	148	71.04
増減額(B-A)	907	32	70	
増減率(%)	10.0	37.3	90.7	
(ご参考)前期実績 (2023年2月期)	8,686	153	268	128.34

3. 業績予想の修正の理由

2024年2月期の第2四半期累計期間におきまして、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染は大きく鎮静化、経済への影響も大きく軽減しました。一方、2022年2月に始まったロシアによるウクライナ侵攻は長期化しており、特に欧州を中心に資源・エネルギー供給や物流に悪影響を及ぼし、世界的なインフレや金利上昇に波及するなど、経済の不安要素となっております。化粧品市場につきましては、引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大前には及ばないものの、社会の正常化に伴って化粧機会は増加、マスク着用も徐々に減り、消費マインドも大きく改善してきており、国内・海外共に化粧品需要は回復の傾向が継続しているものと思われまます。

当社におきましても、第2四半期累計期間は、国内・海外の化粧品メーカーからの受注の回復を受けて、売上高は連結業績・個別業績共に前回発表予想値を上回りました。また、利益面では、国内事業の個別業績は、インフレによる各種費用増や採用難による工数不足をまかなうための外注加工費増を通じたコストアップ等もあって前回発表予想値対比の増益は限定的に留まる見込みですが、フランス事業を含めた連結業績は、欧州での医薬品・化粧品メーカーからの受注回復の影響が大きく、営業利益・経常利益共に前回発表予想値を大きく上回る見込みです。

2024年2月期の通期業績予想につきましては、第3・第4四半期の売上高は、引き続き化粧品の消費マインドや受注環境が改善していることから、前回見込んだ水準を上回る、第2四半期累計期間と同水準を見込み、通期の売上高についても連結業績・個別業績共に前回発表予想値を上回る見込みです。また、利益面では、国内事業の個別業績は引き続き各種費用や外注加工費の高止まり等もあって、前回発表予想値対比で若干の増益の見込みですが、フランス事業を含む連結業績は、連結子会社の好調な受注継続を受けて、通期も前回発表予想値対比で相応の増益となる見込みです。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上